

48<sup>th</sup>

令和3年度 9月号 [9月15日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



岸川中だより

川口市立岸川中学校  
川口市安行領根岸374番地の1  
TEL268-4506 FAX268-4761  
特別支援学級 TEL268-7110  
さわやか相談室TEL268-4510  
<https://kishikawa.official.jp>

## 秋祭り

～岸川まつりを考えるの巻～

校長 松田 隆幸

シリーズで岸川中と私の関係ある方々を当時のエピソードを織り込み、ご紹介してきたシリーズも一旦最終回。中学生の時に会った並木先生、大学生の時に会った戸谷先生。第3弾の今回は、岸川まつりを打ち立てた、第8代校長 山下紘一様にまつわるお話。

お祭りはある意味、政(まつりごと)ではないかとおもいます。人々の気持ちを一つにして、一体感を持って、笑顔で、同じ時間を楽しむことができます。その意味では、今や伝統となった「岸川まつり」を最初に企画した山下紘一校長の当時のご苦労は大変だったと思います。

山下校長と私は、市内の南中学校に同時に赴任しました。当時、私は赴任早々に県の体育の研究発表や名門水泳部(オリンピック選手を輩出)の存続を託されました。が、難題が山積。山下校長からは、全方位から応援いただき、発表も水泳部の存続も万事うまくいったところです。そんな心の広い山下校長も、校長先生方の会の会長となり、多忙な毎日。出張が多く、学校にもなかなかいることもできない多忙ぶりでした。

ある夏の盆踊りシーズンの時、私は同僚と盆踊りの会場を巡回していました。すると、どこからか、かん高い、イエー!とも、キャー!とも言えぬ音が耳に入ってきました。「どこかで聞いたことがある声の主」は、山下校長の声だとすぐにわかりました。近寄ると、本部席で、楽しそーに町会の方々と(この紙面では)談話していました。きっと、普段から、時間を作って、町会長さんたちのところへ行っては、お茶を飲みながら学校の話などをしていたのではないかと思います。南中も山下校長の代に、バザーと称して、PTAの方々と一緒になった行事を始めたことは言うまでもありません。

岸川中学校の伝統となった「岸川まつり」は、このコロナ禍の状況から、今年も開催できなくなってしまいました。とても、苦しく、寂しく、辛い思いです。

ですが、コロナ禍が明けたその時には、生徒も、保護者も、地域の方々も一緒になった「岸川まつり」を思う存分楽しみたいと思うところです。岸川中の強みは、文部科学大臣賞もいただいた、地域と一体となつての活動です。もう一度、必ずや復活できる日を信じています。きっと、来年こそは…の想いで、「岸川まつり」に向けて気持ちの準備を整えていきたいと考える秋です。

令和5年岸川中学校は創立50周年  
2023 Kishikawa.J.H.S 50<sup>th</sup> ANNIVERSARY